

千葉科学大学の現状とこれまでの取り組み（2）

－ 銚子市と共に歩む大学、千葉科学大学－

2024年（令和6年）4月
千葉科学大学

1. はじめに

千葉科学大学（以下、「大学」という。）の建学の理念・目的及び使命や大学を取り巻く環境を踏まえ、大学が永続的に安定した運営を行い、銚子市を中心とした地域社会の活性化に貢献し、ともに発展するための今後のあり方として、大学の現状に基づいて課題を整理し、課題解決に向けた大学改革と将来像を取りまとめた。

- ◆2004年（平成16年）銚子市と学校法人加計学園の公私協力により千葉科学大学を開学
 - 【建学の理念】ひとりひとりの若人が持つ能力を最大限に引き出し
技術者として社会人として社会に貢献できる人材を養成する
 - 【設置の目的】「健康で安全・安心な社会の構築」に寄与できる人材を養成する
「人を助けたい」という人のための大学

- ◆2014年（平成26年）「地（知）の拠点整備事業」として地域を志向し、「地育地就」を大学全体で推進することを表明

- ◆2014年（平成26年）銚子市の要望を受け、不足する看護師を養成するため看護学部を設置

- 2004年(平成16年)4月**：**銚子市からの要望を受け、千葉科学大学**（薬学部薬学科、危機管理学部防災システム学科、環境安全システム学科、危機管理システム学科）**開学**
- 2006年(平成18年)4月**：**薬学部薬学科の修業年限を4年制から6年制に変更及び薬科学科を設置**
- 2008年(平成20年)4月**：大学院薬科学研究科薬科学専攻修士課程、危機管理学研究科危機管理学専攻修士課程設置
薬学部**動物生命薬科学科**設置
- 2009年(平成21年)4月**：危機管理学部**動物・環境システム**学科設置、
医療系3コース（臨床工学コース、臨床検査学コース、救急救命学コース）を集約して医療危機管理学科設置
危機管理学部防災システム学科、環境安全システム学科募集停止
- 2010年(平成22年)4月**：留学生別科設置
大学院薬科学研究科薬科学専攻博士課程（後期）、危機管理学研究科危機管理学専攻博士課程（後期）設置
薬学部薬科学科、動物生命薬科学科募集停止
薬学部**生命薬科学科**設置
危機管理学部**航空・輸送安全**学科設置
- 2012年(平成24年)4月**：大学院薬科学研究科から薬学研究科に名称変更
大学院薬学研究科薬学専攻博士課程を設置
危機管理学部**動物・環境システム**学科募集停止
危機管理学部**環境危機管理**学科、**動物危機管理**学科設置
- 2013年(平成25年)4月**：危機管理学部**航空・輸送安全**学科から**工学技術危機管理**学科に名称変更
- 2014年(平成26年)4月**：**銚子市からの要望を受け、看護学部看護**学科設置
- 2014年度(平成26年度)**：文部科学省「**地（知）の拠点整備事業**」採択
- 2016年度(平成28年度)**：文部科学省「**私立大学研究ブランディング事業**」採択
- 2017年(平成29年)4月**：危機管理学部**工学技術危機管理**学科から**航空技術危機管理**学科に名称変更
- 2018年(平成30年)4月**：大学院看護学研究科看護学専攻修士課程設置
- 2019年(平成31年)4月**：危機管理学部**危機管理システム**学科から**危機管理**学科に名称変更
危機管理学部**医療危機管理**学科から**保健医療**学科に名称変更
薬学部**生命薬科学科**募集停止
危機管理学部**環境危機管理**学科募集停止
- 2023年(令和5年)4月**：大学院薬学研究科薬科学専攻修士課程募集停止・廃止

2. 大学の現状（1）学部・学科、コース・専攻の概要

令和5年4月1日現在

| 学 部 | 学 科・専 攻 | 入学定員 | 収容定員 |
|--|---|-----------|------------|
| 薬学部（6年制） 安全かつ安心な生活を送ることができるように、地域と連携しながら社会や医療の要請に薬事衛生を通して対応するだけでなく、危機管理の素養を身に付けた薬の専門家の養成を目的とする。 | 薬学科 チーム医療で現場に貢献する「人を助けたい」という想いを持った薬学の専門家を養成する。 | 100名 | 680名 |
| 危機管理学部（4年制） 危機管理の素養を身に付け、安全で安心な社会を構築する知識と技術を修得し、健康で平和な社会を実現できる基礎的能力を持った人材の養成を目的とする。 | 危機管理学科 〔入学定員：120名（収容定員：480名）〕 安全・安心な暮らしを守る知識と技術を習得し、社会貢献のために自ら考え行動できる人材を養成する。 「総合危機管理学コース」「ビジネス・経営管理コース」「消防官・地域防災コース」「警察官・犯罪科学コース」「自衛官・安全保障コース」「地球環境保全コース」 | 300名 | 1,200名 |
| | 保健医療学科 〔入学定員：80名（収容定員：320名）〕 世界を視野に救急・災害医療のあらゆる現場に即応できる危機管理の素養を持った健康と生命を守る医療技術者を養成する。 「臨床検査学コース」「臨床工学コース」「救急救命学コース」 | | |
| | 航空技術危機管理学科 〔入学定員：40名（収容定員：160名）〕 航空業界のあらゆる業種を網羅し、空を舞台に活躍するプロフェッショナルを養成する。 「パイロットコース」「航空工学・ドローンコース」「航空マネジメントコース」 | | |
| | 動物危機管理学科 〔入学定員：60名（収容定員：240名）〕 あらゆる動物の危機管理を学び、社会ニーズに応え活躍する人材を養成する。 「動物生命科学コース」「動物看護学コース」「野生動物管理学コース」「動物資源学コース」「畜産学コース」「水生動物学コース」「アニマルビジネスコース」 | | |
| 看護学部（4年制） 安全・安心な健康生活の確保に向けて、豊かな人間性と高い倫理観、高い専門性と自律性を有し、看護の立場から見た危機管理の素養を身に付け、看護を創造し、看護実践の改革に寄与していきける基礎的能力を持った人材の養成を目的とする。 | 看護学科 常に変化する保健医療現場で新たな看護を創造できる人材を養成する。 | 90名 | 340名 |
| 薬学研究科 | 薬学専攻博士課程（4年制） 薬科学専攻博士課程（後期） | 3名 5名 | 12名 15名 |
| 危機管理学研究科 | 危機管理学専攻修士課程 危機管理学専攻博士課程（後期） | 10名 3名 | 20名 9名 |
| 看護学研究科 | 看護学専攻修士課程 | 5名 | 10名 |

2. 大学の現状（2）特色ある教育研究活動

① 教育研究

◆危機管理教育

本学は、全学生が危機管理の素養を習得し、安全・安心な社会構築に貢献できる人材の養成を教育目標としているため、全学部共通の必修科目「リスク危機管理論」を学び、学部ごとの専門教育においても危機管理教育を実施している。

◆学部間連携教育

医療の現場では多職種連携が必須となっている。本学では社会に出た卒業生が多職種連携に円滑になじめるように薬学部、危機管理学部、看護学部の医療分野における連携教育を実地している。

② 私立大学研究ブランディング事業

水産業が盛んな銚子市において、好適環境水など最新の陸上養殖技術を導入した「フィッシュ・ファクトリー」（魚類生産工場）の実用化を目指している。

これまで、銚子産の青魚（イワシ・サバ・サンマ等）のブランド化や安心・安全なモクズガニの陸上養殖技術の開発を行ってきた。

また、現在は地域の産官学金連携のもと、千葉県が養殖推進しているホンモロコの陸上養殖技術の開発に取り組んでおり、地域社会への貢献を目指している。

③ 地（知）の拠点整備（COC）事業

文部科学省が推進する「地（知）の拠点整備事業」として採択されたテーマ「防災・郷土教育を積み上げた、人に優しく安心して住める地域創り」を継続・発展させて、千葉県内の地方公共団体や企業等と協働して、学生にとって魅力ある就職先を創出・開拓するとともに、これらの地方公共団体・企業等が求める人材を養成するために必要な教育カリキュラムを改革する。

④ 地域連携・協働活動

県、市、国の地方支分局、地元団体等との主要な活動を以下に示す。

千葉県：「家畜伝染病発生時における防疫連携協力に関する協定」を締結。貿易作業に従事する自衛隊に宿営地提供

千葉県：「自然保護に関する協定書」～県環境影響評価委員会に参加

「千葉SDGsパートナー」～SDGs活動

県銚子水産事務所：食育（魚）や水環境等に関する研究への協力

国交省利根川下流河川事務所：水防災教育における連携協力

銚子市：「包括連携協定」を締結して活動中。15の委員会・協議会・審議会の委員等として市政に協力

神栖市：「自然環境調査に関する協定」に基づき継続的に調査・報告の実施、市環境審議会に参加

銚子市立病院：本学構内に新型コロナウイルス感染症検査のための特例衛生検査所を設置
（2021年（令和3年）1月8日～2023年（令和5年）3月31日）

JAちばみどり等：地域活性化や環境等に関する協定を締結し、活動中。

銚子円卓会議：災害支援策として「osusowake（おすそわけ）」

大 学：市民公開講座（2023年度（令和5年度）は、34講座）の実施
（県「ちば子ども大学」と連携、銚子市共催、旭市・匝瑳市・神栖市後援）

市民の健康サポート施策（「まちの保健室」「看護の日」）

図書館を地域に開放

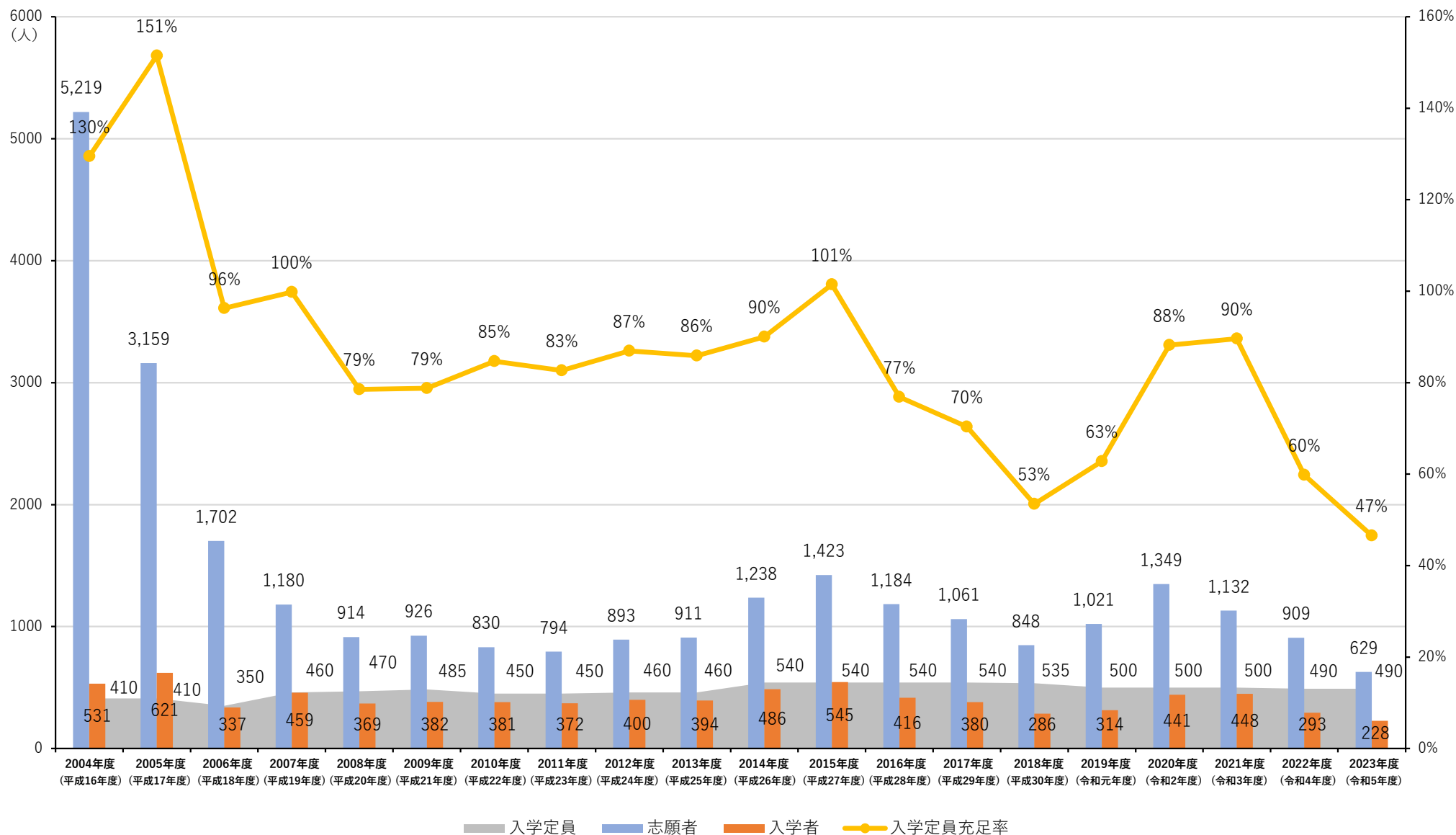
大学施設の貸出し（消防団操法大会、危険物取扱者試験、英語検定試験、大学共通テスト、模擬試験会場等）

学生サークルによる地域貢献活動（学生消防隊、スターラビッツ、ローターアクトクラブ、
DRR（Disaster Response Research）災害サバイバル）

2. 大学の現状（3）志願者・入学者・学生数等の状況

① 志願者・入学者の状況

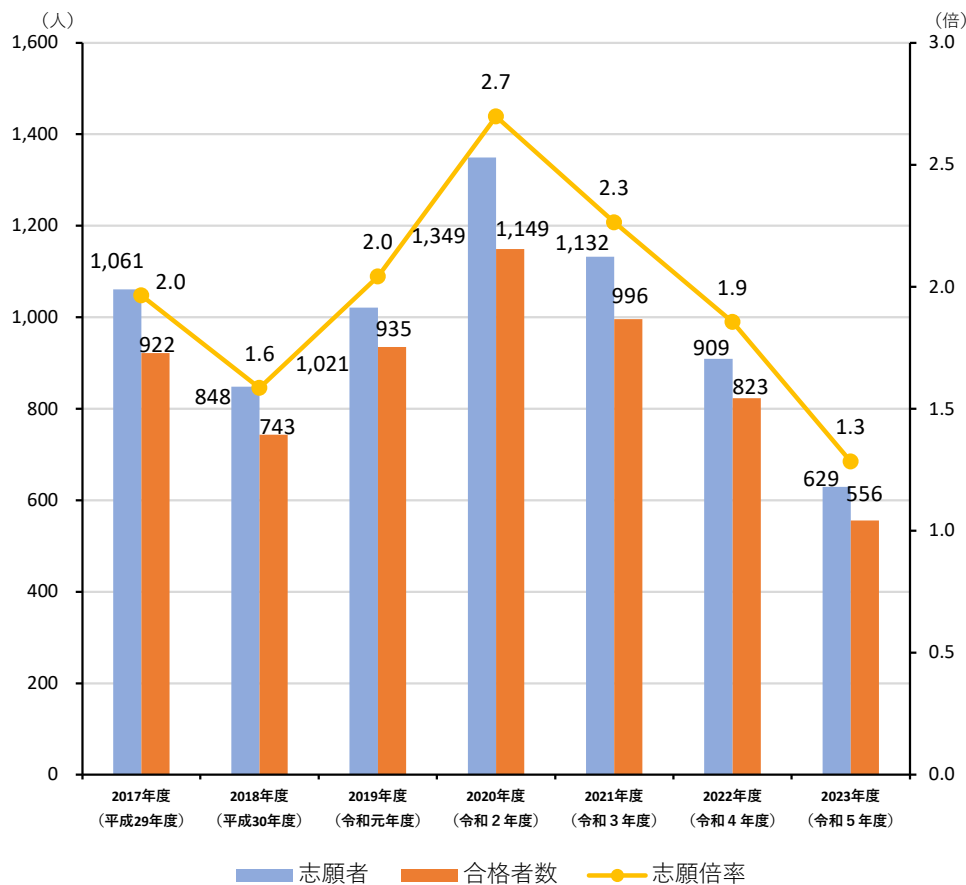
志願者数（延べ人数）は2008年度(平成20年度)以降900人前後で推移し、2014年度（平成26年度）には看護学部の開設等により増加した。2021年度（令和3年度）以降、コロナ禍の影響により志願者数・入学者数は減少した。



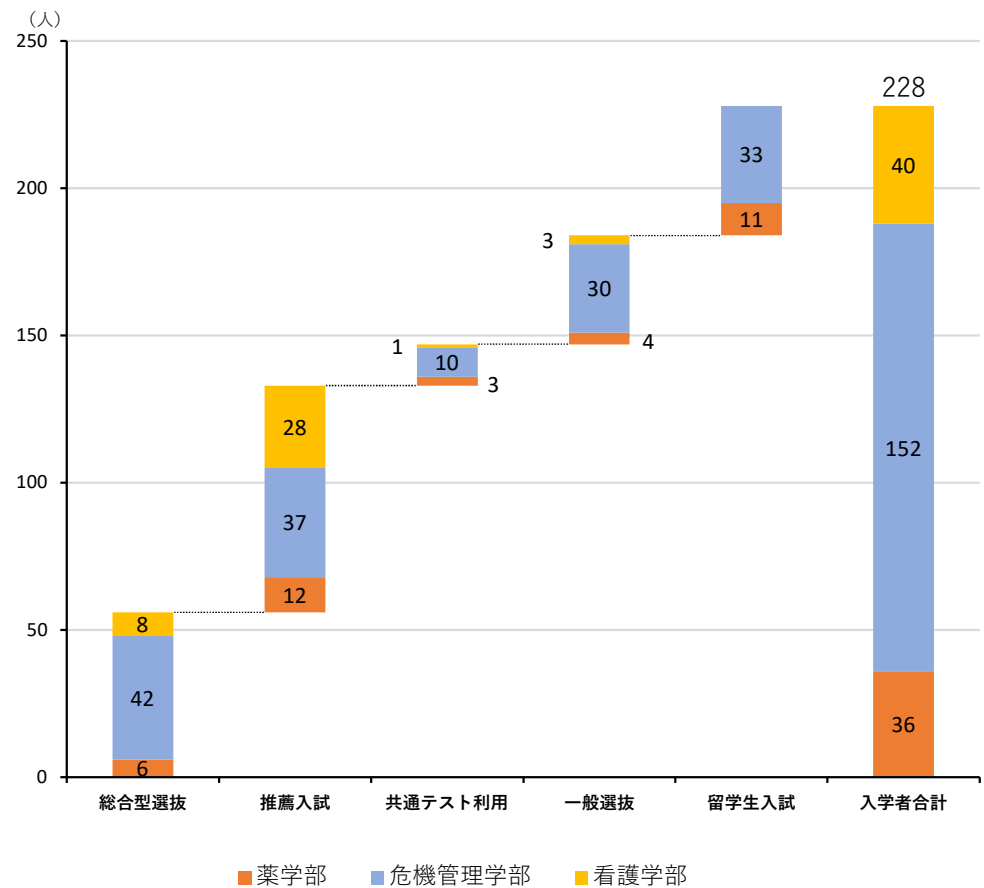
【志願者・合格者数、入試方法の状況】

2021年度（令和3年度）から新型コロナウイルス感染症の影響もあり、志願者が減少してきている。
入試方法別で見ると、総合型選抜・推薦入試の入学者が半数以上となっている。

【志願者数・倍率、合格者数の推移】

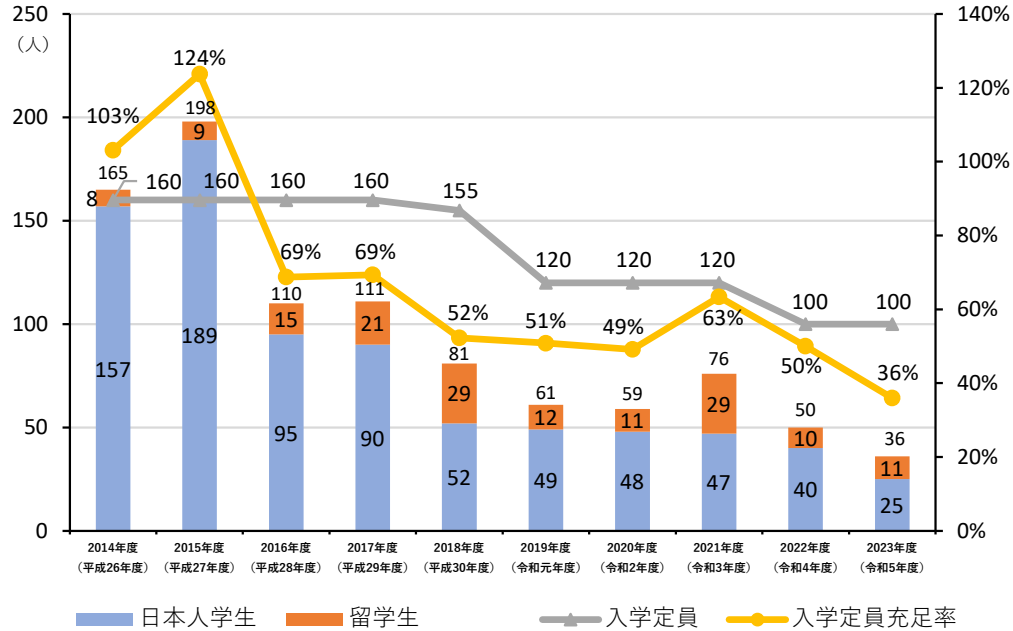


【入試方法別入学者数（2023年度（令和5年度））】

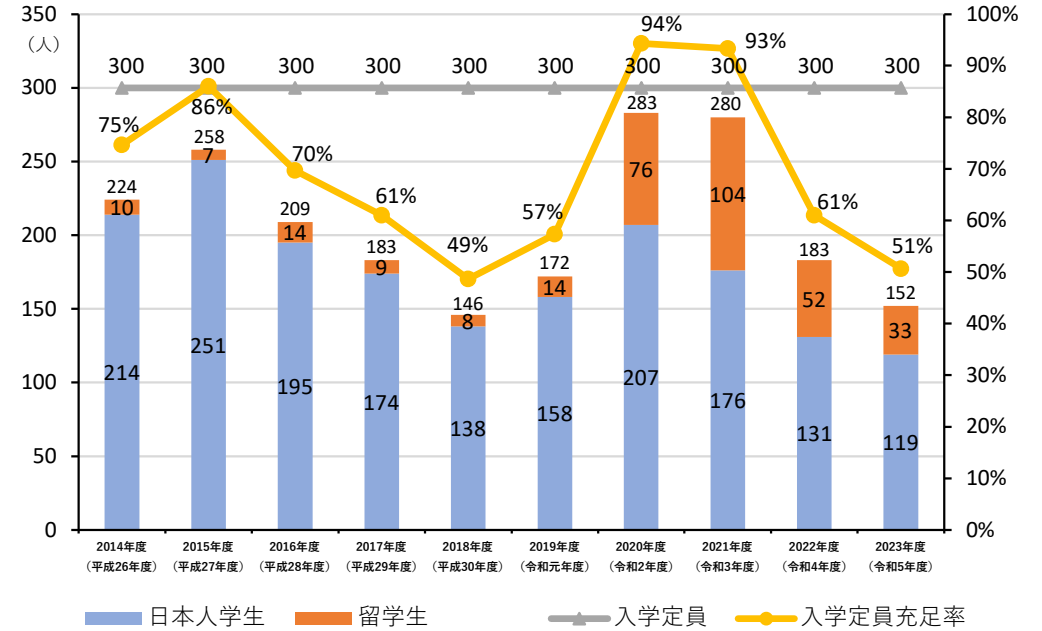


【学部別入学定員充足率】

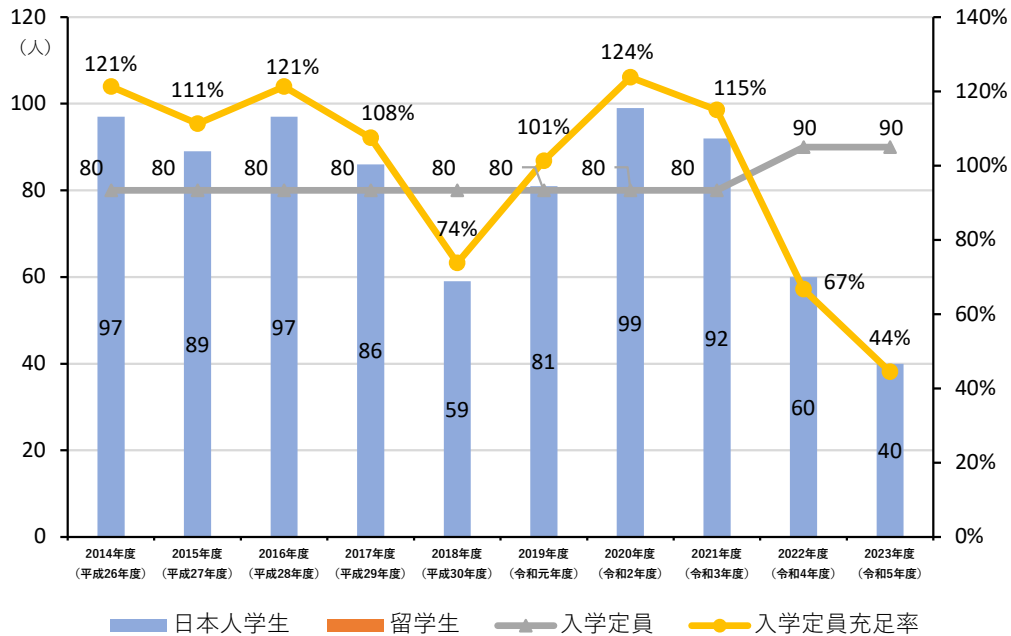
【薬学部】



【危機管理学部】



【看護学部】



② 入学者の詳細

千葉県内の入学者は30%弱、銚子市及び周辺地域は20%程度となっている。

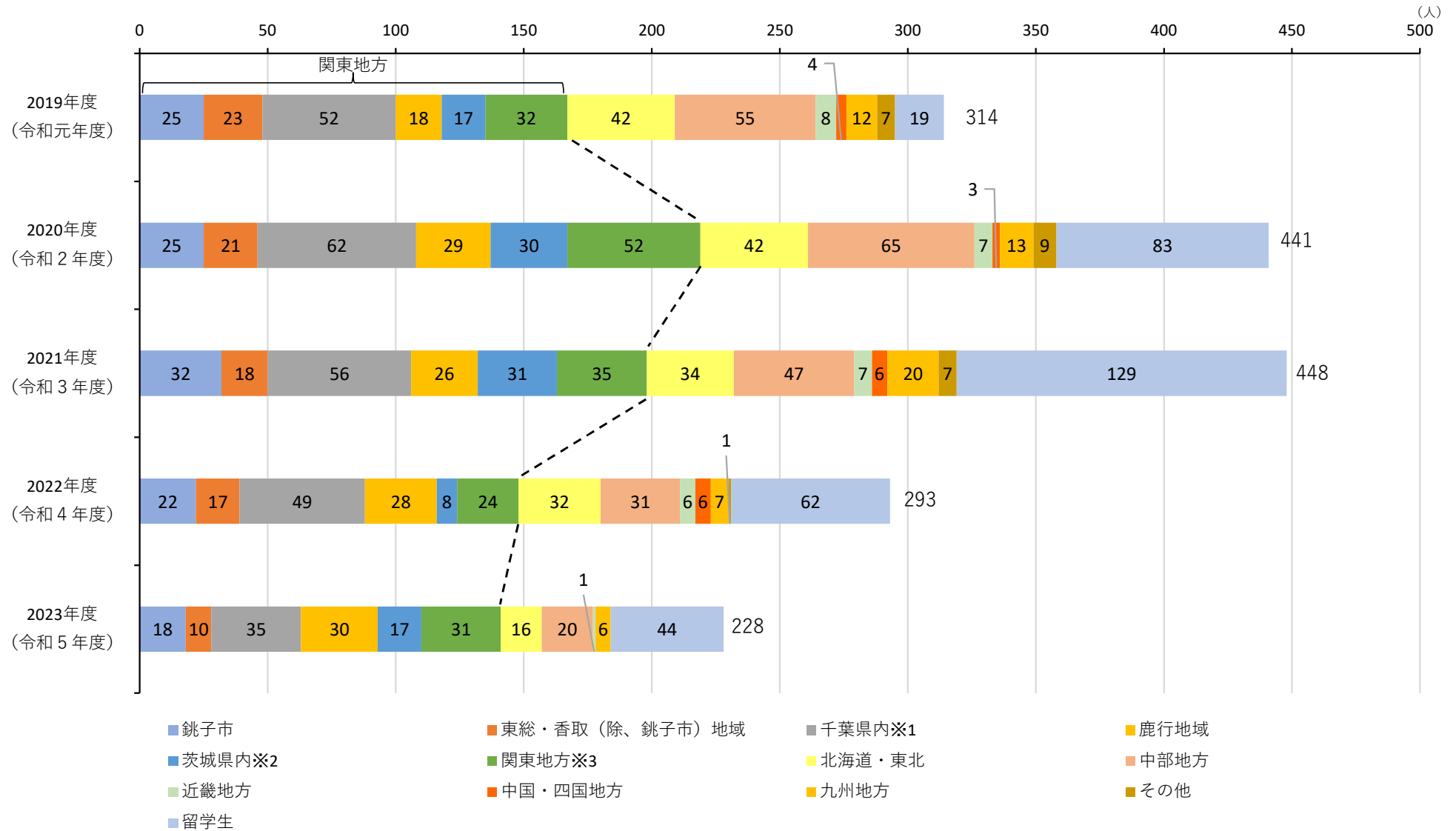
() は入学者数に対する割合

| | | 2019年度 (令和元年度) | 2020年度 (令和2年度) | 2021年度 (令和3年度) | 2022年度 (令和4年度) | 2023年度 (令和5年度) |
|---------|---------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 入学定員 | | 500 | 500 | 500 | 490 | 490 |
| 入学者数 | | 314 | 441 | 448 | 293 | 228 |
| 入学定員充足率 | | 62.8% | 88.2% | 89.6% | 59.8% | 46.5% |
| 入学者内訳 | 千葉県出身者数 | 100 (31.8%) | 108 (24.5%) | 106 (23.7%) | 88 (30.0%) | 62 (27.2%) |
| | ①うち銚子市出身者数 | 25 (8.0%) | 25 (5.7%) | 32 (7.1%) | 22 (7.5%) | 18 (7.9%) |
| | ②うち東総(除、銚子市)、香取地域出身 | 23 (7.3%) | 21 (4.8%) | 18 (4.0%) | 17 (5.8%) | 10 (4.4%) |
| | 茨城県出身者数 | 35 (11.1%) | 59 (13.4%) | 57 (12.7%) | 36 (12.3%) | 47 (20.6%) |
| | ③うち鹿行地域出身 ※1 | 18 (5.7%) | 29 (6.6%) | 26 (5.8%) | 28 (9.6%) | 30 (13.2%) |
| | 銚子市および周辺合計 (①+②+③) | 66 (21.0%) | 75 (17.0%) | 76 (17.0%) | 67 (22.9%) | 58 (25.4%) |
| | 留学生数 | 19 (6.7%) | 83 (18.8%) | 129 (28.8%) | 62 (21.2%) | 44 (19.3%) |

※1：留学生数は各年度の留学生対象入試での入学者数

【大学全体出身地別入学者数の推移】

留学生を除いた入学者数は、2020年度（令和2年度）の358人をピークに減少、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、特に関東地方以外からの入学者が7割減少した。

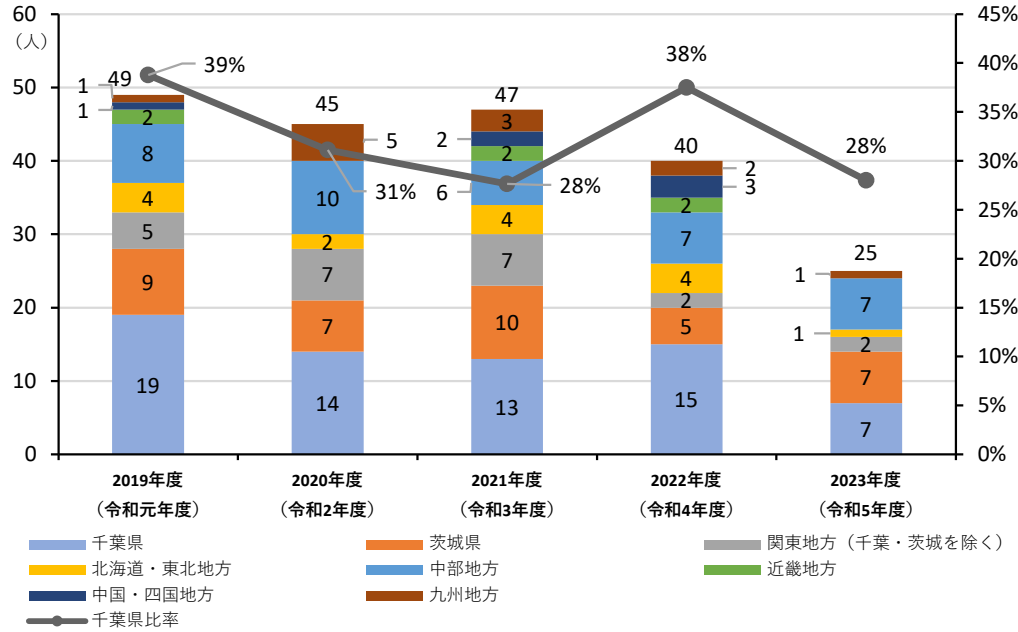


※1：千葉県内の値は東総（銚子市含む）・香取地域を除く。
 ※2：茨城県内の値は鹿行地域を除く。
 ※3：関東地方の値は千葉県・茨城県を除く。

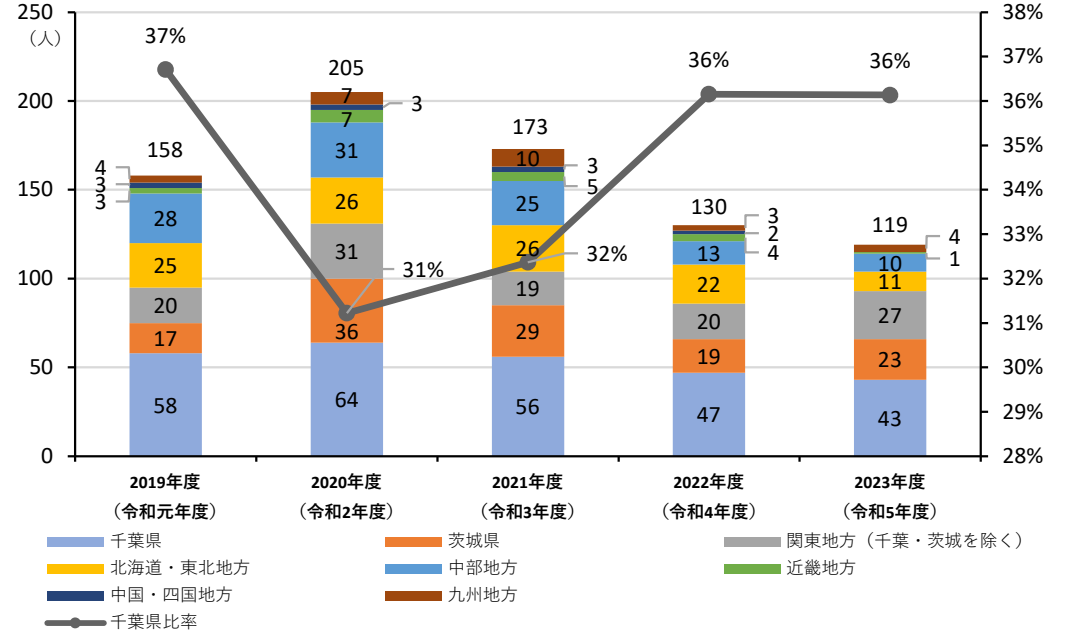
【学部別の出身都道府県入学者数】

各学部ともに千葉県・茨城県出身者が半数以上を占めている。

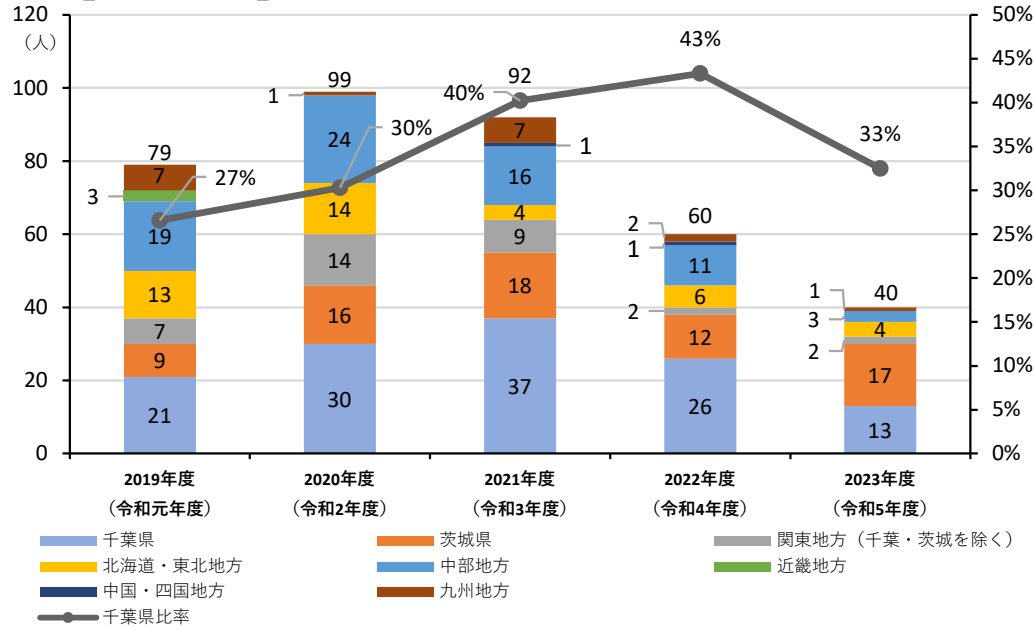
【薬学部】



【危機管理学部】



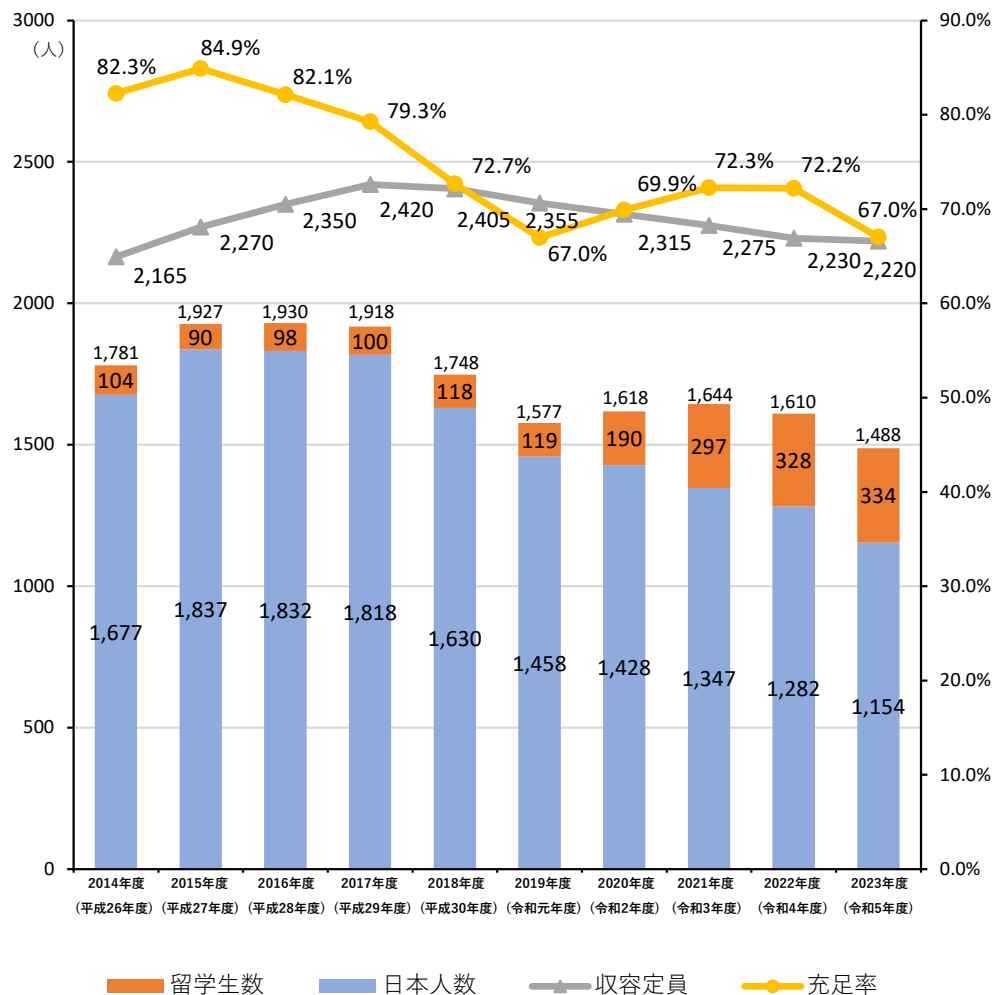
【看護学部】



③ 学生の推移

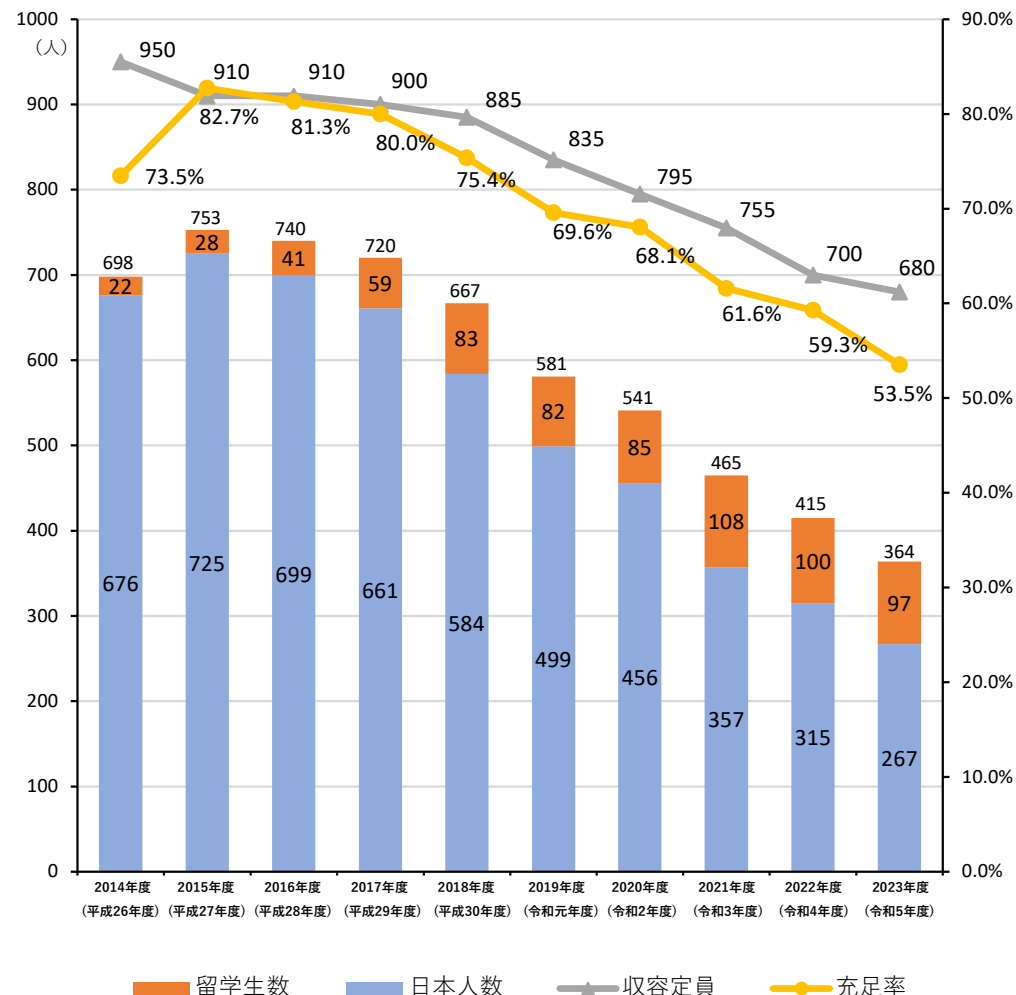
【千葉科学大学在学生数・収容定員充足率】

大学全体の学生数は、2016年度（平成28年度）の1,930人をピークに減少、近年は留学生が増加し収容定員充足率は70%程度で推移している。



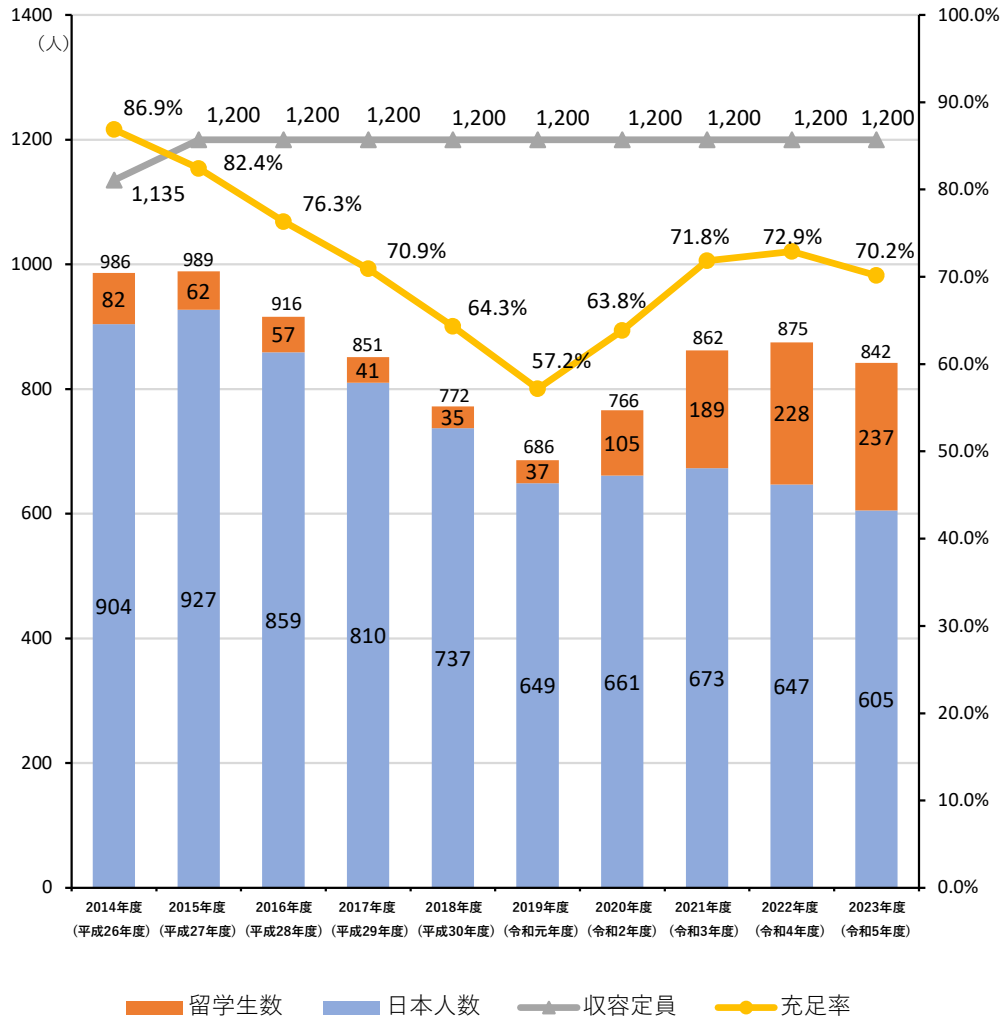
【薬学部在学生数・収容定員充足率】

薬学部は、定員の減等により2015年度（平成27年度）をピークに大幅に減少、収容定員充足率も53%まで低下した。



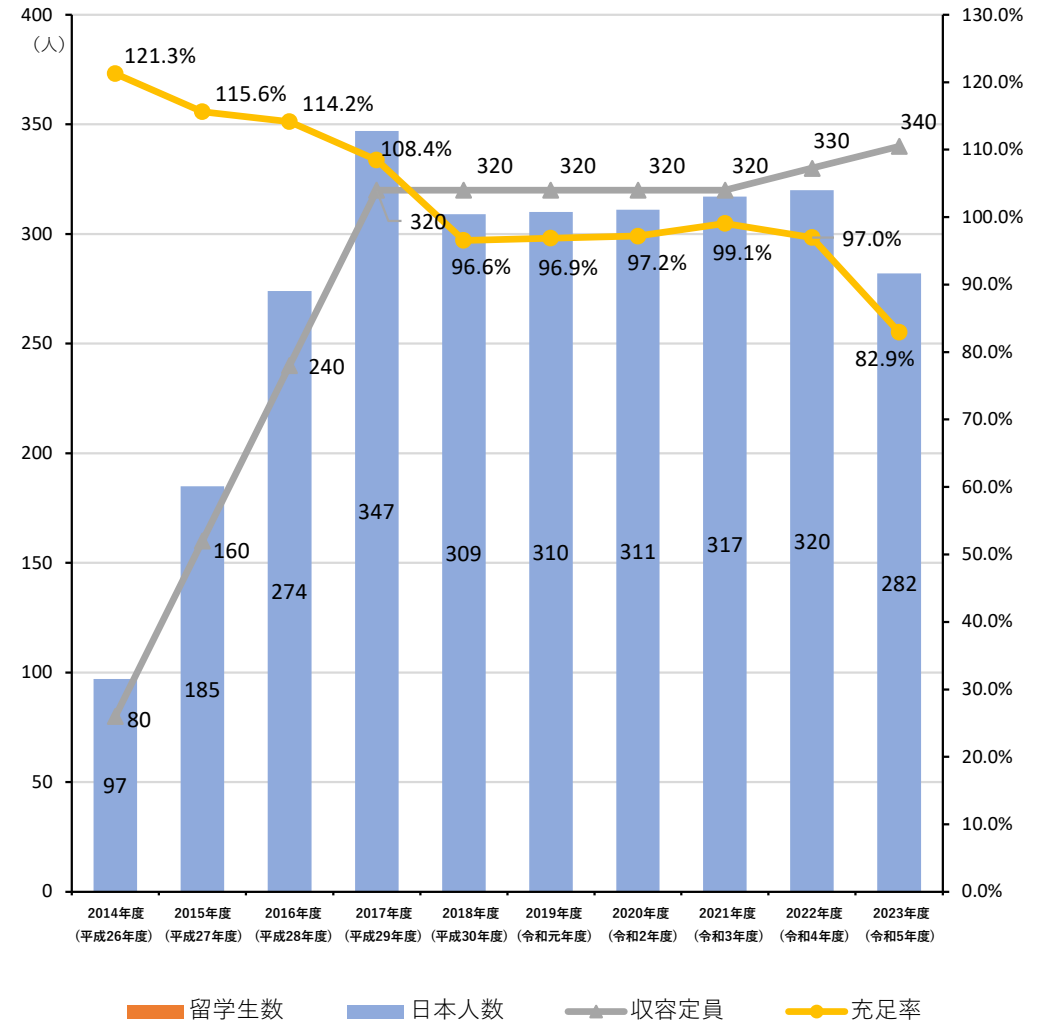
【危機管理学部在学生数・収容定員充足率】

危機管理学部の学生数は、毎年漸減してきたが、2020年度（令和2年度）から留学生が増えたため、800人程度（充足率約70%）で推移している。



【看護学部在学生数・収容定員充足率】

看護学部の学生数は、昨年度まで300人以上、収容定員充足率100%弱であったが、2022年度（令和4年度）に入学定員を80人から90人に増やしたことや入学者数の減もあり、2023年度（令和5年度）の定員充足率は82.9%と減少した。



④ 学部・学科の学生数

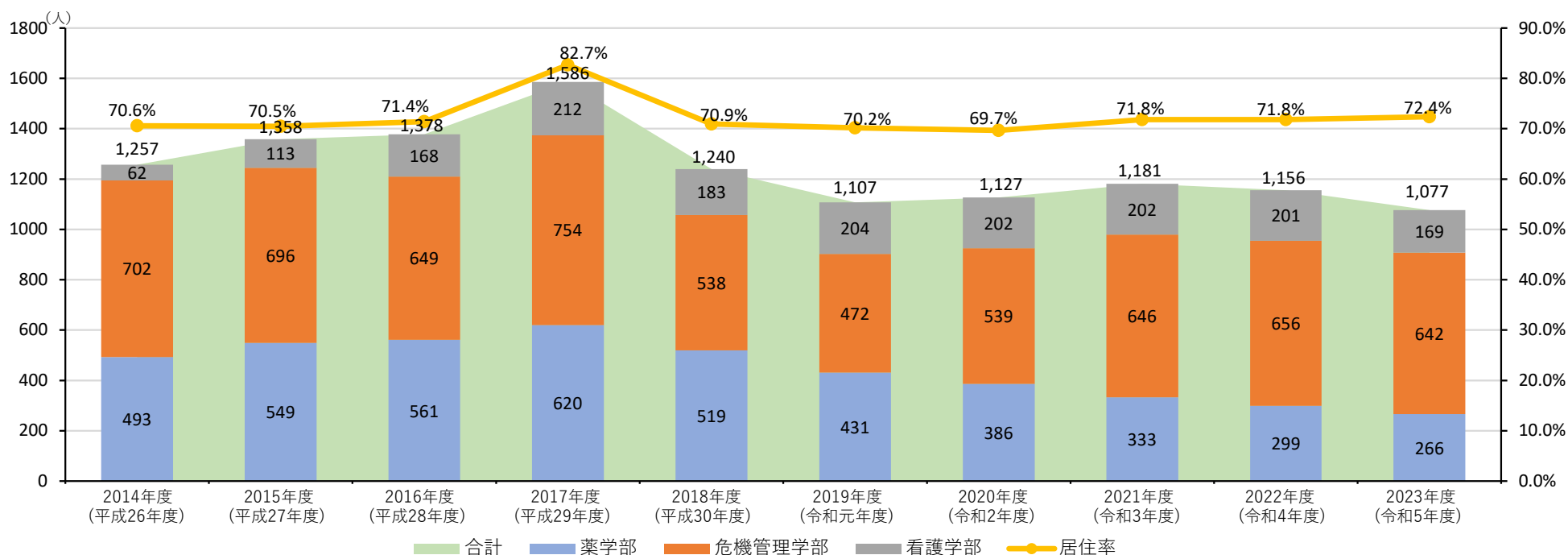
令和5年5月1日現在

単位：人

| 学部 | 学科 | 収容定員 | 在籍者数 | | | | |
|--------|------------|-------|-------|---------|--------|-------|-----------------|
| | | | 在籍者数 | 収容定員充足率 | うち留学生数 | 留学生比率 | うち銚子市 市内居住者数 |
| 薬学部 | 薬学科 | 680 | 364 | 53.5% | 97 | 26.6% | 266 |
| 危機管理学部 | 危機管理学科 | 480 | 362 | 75.4% | 188 | 51.9% | 278 |
| | 保健医療学科 | 320 | 225 | 70.3% | 15 | 6.7% | 167 |
| | 航空技術危機管理学科 | 160 | 113 | 70.6% | 21 | 18.6% | 90 |
| | 動物危機管理学科 | 240 | 142 | 59.2% | 13 | 9.2% | 107 |
| 看護学部 | 看護学科 | 340 | 282 | 82.9% | 0 | 0.0% | 169 |
| 合計 | | 2,220 | 1,488 | 67.0% | 334 | 22.4% | 1,077 |

【銚子市居住の学生数】

銚子市内に居住している学生数は1,000人以上で、約7割が市内で生活している。教職員は半数の89人が市内に居住しており、本学全体で1,200人程度が市内に居住している。



⑤ 教職員の推移

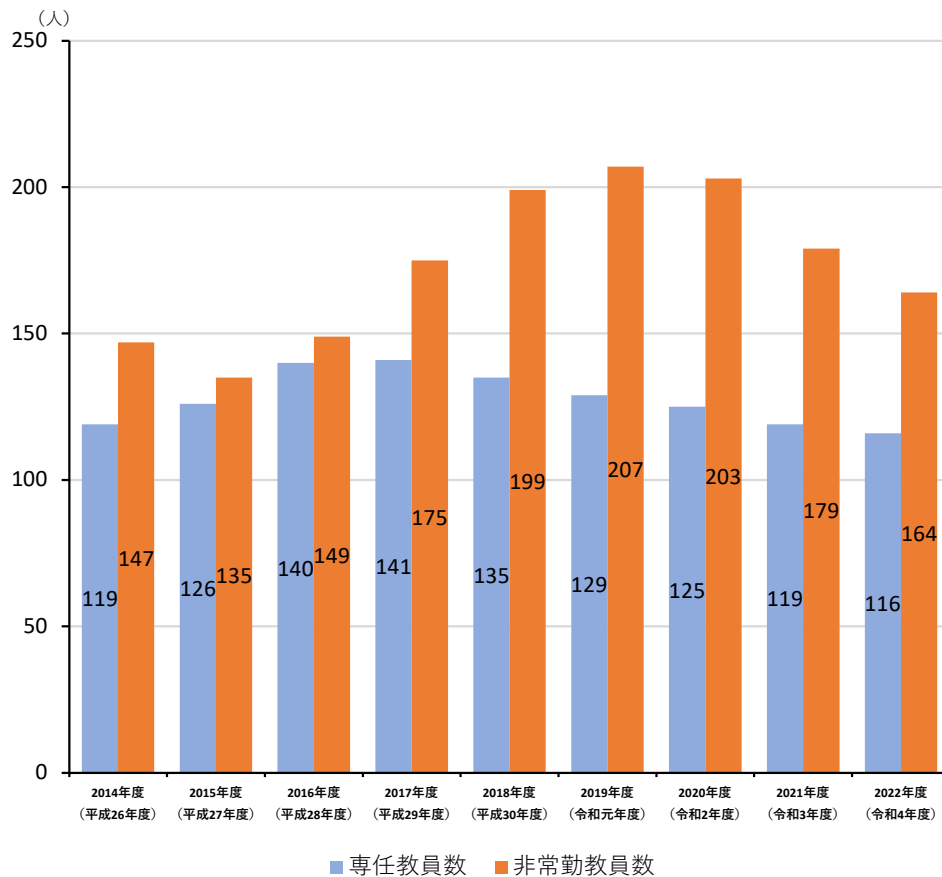
単位：人

| | 2019年度 (令和元年度) | 2020年度 (令和2年度) | 2021年度 (令和3年度) | 2022年度 (令和4年度) |
|--------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 専任教員数 | 129 | 125 | 119 | 116 |
| 非常勤教員数 | 207 | 203 | 179 | 151 |
| 常勤職員数 | 61 | 56 | 53 | 61 |
| 兼務職員数 | 28 | 17 | 15 | 56 |

※ 兼務職員とはアルバイト職員（学生アルバイトを含む。）

【専任教員数・非常勤講師数等】

専任教員は2017年度（平成29年度）以降、少しずつ削減している。専任教員の削減に伴い、一時非常勤講師の数が増えたが、それも減少傾向にある。



【2022年度（令和4年度）人件費】

(千円)

| 区分 | | 人数 | 給与合計金額 |
|-----|------|-----|-----------|
| 教員数 | 本務教員 | 116 | 1,212,447 |
| | 兼務教員 | 151 | 64,616 |
| 職員数 | 本務職員 | 61 | 434,052 |
| | 兼務職員 | 56 | 58,087 |
| 計 | | 384 | 1,769,202 |

- ※ 本務職員には法人本部にて按分された人数が含まれる。
- ※ 兼務教員とは非常勤講師
- ※ 兼務職員とはアルバイト職員（学生アルバイトを含む。）
- ※ 退職金は別途

2. 大学の現状（4）就職の状況

過去5年間の就職率は、96%程度である。県内就職者率は、30.0%～39.5%、市内就職者率は、1.9%～5.1%、東総・香取・茨城県鹿行地域就職者率は、14.2%～22.0%である。

| 年度 | 卒業生 (内留学生) | 就職 希望者 (内留学生) [a] | 就職者 (内留学生) [b] | 就職率 [b] / [a] | 県内 就職者 (内留学生) [c] | 県内 就職者率 [c] / [b] | 市内 就職者 (内留学生) [d] | 市内 就職者率 [d] / [b] | 東総・香取・ 茨城県 鹿行地域 就職者 (内留学生) [e] | 東総・香取・ 茨城県 鹿行地域 就職者率 [e] / [b] |
|--------------------|---------------|----------------------------|----------------------|------------------|----------------------------|-------------------------|----------------------------|-------------------------|---|--|
| 2018年度 (平成30年度) | 404 (7) | 351 (3) | 337 (3) | 96.0% | 101 (0) | 30.0% | 11 (0) | 3.3% | 48 (0) | 14.2% |
| 2019年度 (令和元年度) | 336 (6) | 292 (3) | 277 (3) | 94.9% | 94 (1) | 33.9% | 12 (0) | 4.3% | 56 (0) | 20.2% |
| 2020年度 (令和2年度) | 373 (13) | 284 (3) | 254 (3) | 89.4% | 95 (1) | 37.4% | 13 (0) | 5.1% | 44 (0) | 17.3% |
| 2021年度 (令和3年度) | 260 (15) | 239 (6) | 177 (6) | 74.1% | 70 (0) | 39.5% | 7 (0) | 4.0% | 39 (0) | 22.0% |
| 2022年度 (令和4年度) | 291 (23) | 227 (6) | 212 (6) | 93.4% | 78 (1) | 36.8% | 4 (0) | 1.9% | 30 (0) | 14.2% |

【①主な就職先（千葉県内）】

- 公務員：千葉県、千葉市、市川市、柏市、山武市、千葉県警察本部、千葉県警察事務、千葉市消防局、柏市消防局、船橋市消防本部、浦安市消防本部、成田市消防本部
- 医療・保健衛生：亀田総合病院、成田赤十字病院、さんむ医療センター、日本医科大学千葉北総病院
- サービス：成田空港警備(株)、イオンペット(株)、日本郵便(株)
- 運輸・通信：ジェットスター・ジャパン(株)、ANA成田エアポートサービス(株)
- 小 売：(株) マツモトキヨシ、(株)千葉薬品、ウエルシア薬局(株)、米屋(株)、イオンリテール(株)

【②主な就職先（銚子市内、東総・香取・茨城県鹿行地域）】

- 公務員：銚子市、銚子市消防本部、鹿嶋市、神栖市、鹿島地方事務組合消防本部、銚田市
- 医療・保健衛生・福祉：銚子市立病院、島田総合病院、内田病院、国保旭中央病院、国保匠瑳市民病院、千葉県立佐原病院、香取おみがわ医療センター、小山記念病院、神栖済生会病院、(有)毎日薬局、やすらぎ園
- サービス：銚子商工会議所、銚子市漁業協同組合、ガラスリソーシング(株)、ちばみどり農業協同組合、海匠漁業協同組合、かとり農業協同組合、銚田農業協同組合、なめがたしおさい農業協同組合
- 金 融：銚子信用金庫、銚子商工信用組合
- 小 売：森幸漁網(株)、(株)タイヨー、(株)アストリーム、(株)ホンダカーズ東総
- 建 設：(株)神栖重機、三国屋建設(株)
- 運輸・通信：鹿島港湾運送(株)、鴻池運輸(株)
- 鉄 鋼：日本製鉄(株)鹿島製鉄所

【③主な就職先（公務員・企業）】

○公務員

- ・国家公務員：総務省、厚生労働省、国土交通省、海上保安庁、陸上自衛隊幹部候補生、自衛隊一般曹候補生（陸上、海上）、防衛省航空自衛隊
- ・地方公務員：宮城県庁、福島県庁、葛飾区役所、練馬区役所、弘前市役所、石巻市役所、川崎市役所、つくば市役所、警視庁、東京消防庁

○企業

株式会社アインホールディングス、株式会社クスリのアオキ、クオールホールディングス株式会社、日本調剤株式会社、株式会社ビックカメラ、株式会社カワチ薬品、東京ガス株式会社、花王株式会社、キューピー株式会社、株式会社クラレ、株式会社サンドラッグ、株式会社スズケン、株式会社ノジマ、株式会社ネクステージ、東建コーポレーション株式会社、総合警備保障株式会社、日本郵政株式会社、大東建託株式会社、株式会社アサンテ、いちよし証券株式会社、丸全昭和運輸株式会社、鴻池運輸株式会社、株式会社光通信、ニプロ株式会社、株式会社ブロンコビリー、富士ソフト株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、日本航空株式会社、日本製鉄株式会社、山九株式会社、富士通株式会社、株式会社新日本科学、三井住友建設株式会社など（順不同）

【公務員就職状況 過去10年間】

（単位：人）

| 年度 | 警察官 | 消防士 | 自衛官 | 海上保安官 | 国・地方行政職 | 教育職 | 計 |
|--------------------|------------|-----|-----|-------|-----------|-----|------------|
| 2013年度 （平成25年度） | 6 | 14 | 2 | 0 | 1 | 0 | 23 |
| 2014年度 （平成26年度） | 13 (1) | 23 | 4 | 0 | 2 | 0 | 42 (1) |
| 2015年度 （平成27年度） | 13 (1) | 21 | 2 | 1 | 3 | 1 | 41 (1) |
| 2016年度 （平成28年度） | 20 (1) | 20 | 4 | 1 | 4 (1) | 0 | 49 (2) |
| 2017年度 （平成29年度） | 12 | 23 | 6 | 0 | 6 (1) | 0 | 47 (1) |
| 2018年度 （平成30年度） | 12 | 18 | 3 | 0 | 5 | 1 | 39 |
| 2019年度 （令和元年度） | 16 | 19 | 1 | 1 | 7 (1) | 1 | 45 (1) |
| 2020年度 （令和2年度） | 10 (1) | 20 | 2 | 0 | 13 (1) | 2 | 47 (2) |
| 2021年度 （令和3年度） | 6 | 26 | 2 | 1 | 5 (1) | 2 | 42 (1) |
| 2022年度 （令和4年度） | 13 | 19 | 3 | 0 | 3 | 0 | 38 |
| 計 | 121 (4) | 203 | 29 | 4 | 49 (5) | 7 | 413 (9) |

（注）（ ）は銚子市に就職した人数で内数。

3. 大学の課題

(1) 学生確保と経営の安定化

開学後6年目から学生数が収容定員を下回っており、新型コロナウイルス感染症拡大後は、さらにその影響により特に厳しい状況となっている。魅力ある教育研究の実施、積極的な広報等により志願者を増やし学生を確保、経営を安定化させることが必要。

(2) 地域が求める人材の育成と定着

千葉県内への就職者数は、毎年70人以上（約30%）となっているが、銚子市及び周辺地域への就職者数は最近減少傾向にある。地域の求める人材を養成する教育プログラムの開発やフィールドワークなど地域での活動を通して地域理解を深め、地域への就職者数を増やす取り組みを強化する。

(3) 地域連携活動に対する認知度の向上

大学では、銚子円卓会議、市民公開講座（2023年度（令和5年度）は、34講座開講）、まちの保健室、高大連携事業、CISフォーラム、銚子市のジオパークを通じた持続可能な地域づくりへの協力、図書館の市民への開放等の地域連携活動を行っているが、さらに認知度を高めるため積極的な広報活動や大学の研究資源を活用した地域連携活動、産官学金連携を強化する。また、銚子市が推進している事業（ジオパークなど）に施設を貸し出すなど協力体制を強化する。

4. 将来像に向けた大学改革 ー魅力ある大学づくりー

(1) データに基づく教学マネジメント体制の強化

データに基づく教学マネジメント体制を強化して、現在実施している全学的な学修者本位の教育をさらに充実させる。

(2) 教育を通じた社会貢献

本学は、日本で初めて「危機管理」を学べる大学として開学以来、「銚子市と共に歩む大学」として地域に立脚してきた。今後は、さらに銚子市及び近隣地域からの入学者を増やして、地域に必要とされる人材を育成し、地域に定着する卒業生を増やすことでさらなる社会貢献を行う。

① 入学者の安定的な確保

これまで社会のニーズに対応すべく学科の改編・設置等を行ってきており、2014年度（平成26年度）には市の要望に応え、看護学部を増設した。公立化後は、現在の学部・学科の定員充足、各種国家試験合格率の向上を目指すとともに、本学の教育内容が高校生等に明確に分かるよう学部学科の再編等の検討やデータサイエンスやAIに関する教育プログラムを実施するなど社会の要請に対応した人材育成に取り組む。

② 地域からの入学者増加策

◆高大連携の強化

40数校ある教育提携校との教育提携の充実を目指し、高大連携科目の開設、出張講義、大学体験デー等を実施し、高校教育に資する機会を増やす。

◆地域推薦枠の設定

入学者の一定数を千葉県、茨城県から確保するために、地域推薦枠を設定するとともに入学金の減額を実施する。

◆広報戦略の強化

高校生を含む様々な地域のステークホルダーに向け、SNS等を積極活用し大学の魅力発信を強化する。

③ 卒業後の地域定着促進

銚子市及び周辺地域の企業等におけるインターンシップの受入れ先を開拓し、地域産業の理解を深め、学生と企業等とのマッチングをさせる。

学生の希望する業界への就職を支援するため、近隣地域の情報を収集し、就職支援を充実する。

④ 地域の学校（小学校、中学校、高等学校）との連携強化

地域の学校への教員、学生の派遣による教育機会の提供、高校生を本学に招いた大学教育の体験の場の提供、図書館、体育館等の施設を開放することにより、地域の学校との連携強化を図り、地域の教育に貢献する。

⑤ 国際交流の促進

◆海外交流提携校からの受入れ強化

国際交流協定を締結している海外交流提携校（21ヵ国、74学園、4研究機関）からの受入れを強化し、本学のグローバル化を促進するとともに、地域の国際交流や企業との国際化にも積極的に協力していく。

◆カナダにおける危機管理マネージャーの育成

危機管理マネージャー育成において、ICS（インシデント・コマンド・システム）基礎から中級レベルまでの国際資格を取得させるため、カナダブリティッシュコロンビア司法大学との連携を強化する。

◆海外の医療に貢献できる人材の育成

海外の医療に貢献できる人材の育成のため、ハワイ、インドネシアの大学への教員及び学生の派遣機会を増加させる。

◆千葉科学大学附属高校との一貫教育の推進

千葉科学大学附属高校（通信制）は留学生の受入れを主としているため、附属高校と本学との一貫教育を推進することにより、卒業後の本学入学を促進する。

（3）研究力の強化

◆本学が持っている研究リソースを活かし、地元企業、産業、銚子市等との共同研究を推進し、産官学金連携の強化を図る。

◆研究力の高い教員に対し研究費等の支援を行い、その強化を図る。

◆教員の研究力を高めるため競争的研究資金への積極的応募を促進する。

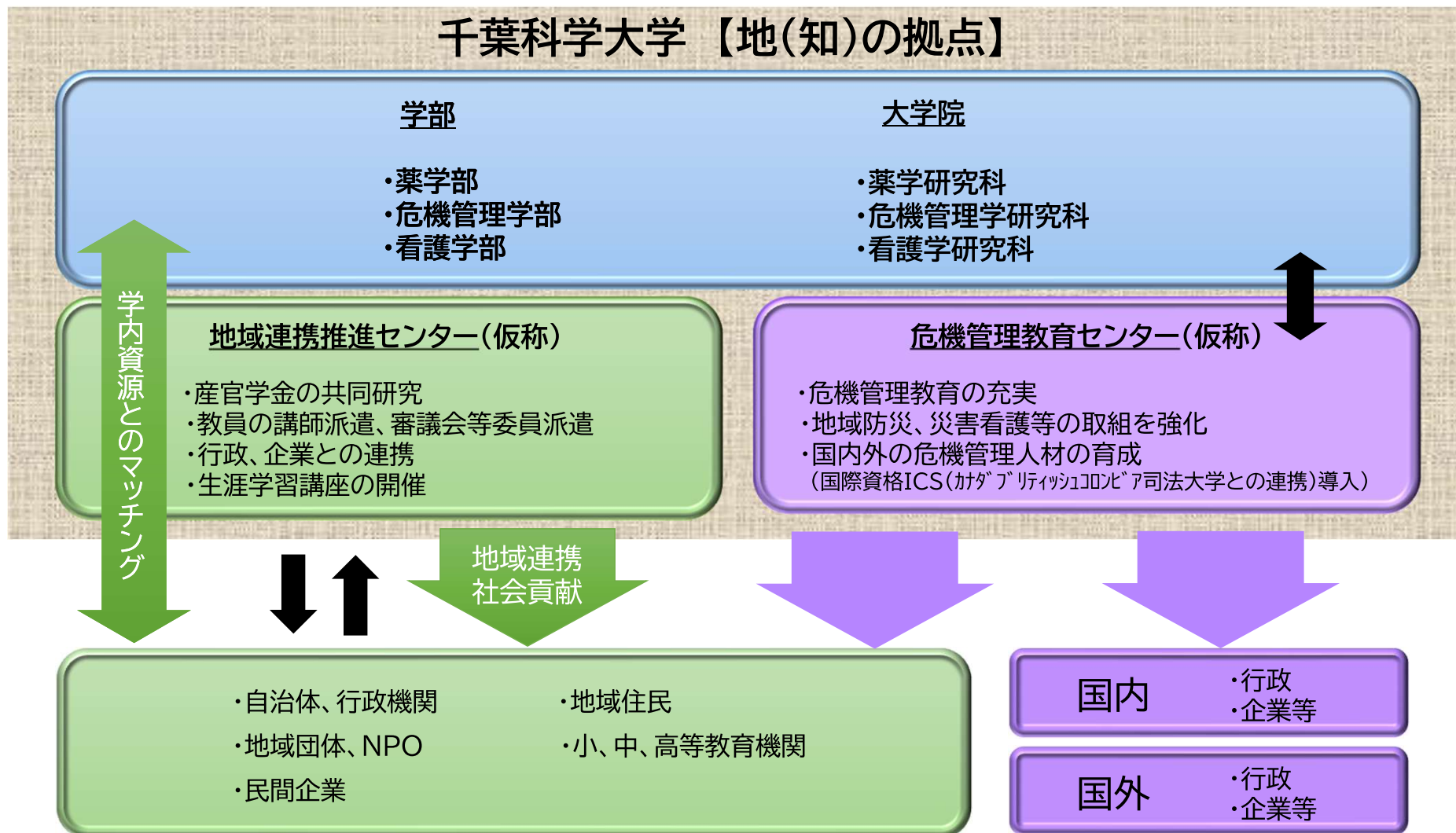
(4) 研究を通じた社会貢献を推進するためのセンター設置

① 地域連携推進センター（仮称）

本学の研究力等を活用して様々な地域貢献を行ってきたが、さらに「地（知）の拠点」として、産官学金の共同研究や地域との連携を積極的に進めるために「地域連携推進センター（仮称）」を設置する。

② 危機管理教育センター（仮称）

研究リソースを活用して危機管理（リスクマネジメント、クライシスマネジメント）教育の充実及び銚子市と連携、地域防災や災害看護等の取組を強化し、広く社会に普及させるため、「危機管理教育センター（仮称）」を設置する。



5. 公立化の意義

- 公立大学になることで、ブランド力が高まり、地域からだけでなく全国から入学志願者の応募が期待できる。また、銚子市のブランド力の向上に貢献できる。
- 銚子市の政策や地域の要請に応えた教育プログラムの見直しやコースの設定、大学院研究科の充実、地域を志向した「地育地就」の推進などにより、地域の発展に貢献できる人材育成や産官学金連携を強化することができる。
- 地域の特色を生かした魅力ある教育・研究プログラムを提供することで、地域の優秀な人材の流出を抑制するとともに、市域外から銚子市への若者の流入や定着が期待でき、地域経済規模の拡大や活気ある街づくりに貢献できる。
- 銚子市と千葉科学大学が一体となることで、市のシンクタンクとしての機能をさらに果たすことができるようになるとともに、学生による地域における社会貢献活動の強化など、学生による主体的な街づくりへの参画が期待できる。

6. 公立化した場合の運営の考え方

- 公立大学法人となった場合は、総務省から設置者である銚子市に地方交付税が交付され、銚子市から大学に運営費交付金（定員充足した場合約28億円）の交付が見込める。
- 公立化後は、授業料等の学生納付金と運営費交付金を主要な財源として運営するが、教員の教育研究力の強化により、外部資金の獲得に努める。
- 私立大学より低額の授業料設定により、従前の奨学制度は概ね廃止とするが、地域限定の奨学制度については内容を見直し継続する。
- 学生確保により収容定員を充足させることによって収入増が見込まれ、安定経営（黒字経営）により財政基盤の確立を図ることができる。